

ノーリフティングケアの 多角的な推進活動報告

障がい児・者支援から見えてきたニーズ

福岡県ノーリフティングケア モデル施設
1期生 介護複合施設ひばり



BEST GROUP

可能性は無限大! 社会福祉事業のベストグループ

児童福祉

- ・相談支援
- ・居宅訪問型児童発達支援
- ・重症心身障がい児支援
- ・児童発達支援
- ・放課後等デイサービス

障がい福祉

- ・相談支援
- ・訪問介護
- ・重症心身障がい者支援
- ・生活介護 生活訓練
- ・就労継続支援B型 (店舗型)
- ・就労継続支援B型 (作業所)
- ・共同生活援助

介護福祉

- ・居宅介護支援
- ・訪問介護
- ・訪問看護
- ・通所介護
- ・住宅型有料老人ホーム

- ・通所介護
- ・住宅型有料老人ホーム

介護複合施設ひばり

- ・介護事業を中心に1期生として
ノーリフティングケアを進めてきた
- ・通所介護という立ち位置から在宅との関わり
- ・児童・障がい・訪問と様々なグループ経営

介護以外の場面でも双方に優しい
ノーリフティングケアが有効
だと実感、多角的な関わりができる
強みから推進活動を行った。

1年目

介護事業

組織化

教育

周知

統一

2年目

在宅

ケアマネージャー

家族

他社

3年目

地域

地域連絡協議会

社内研修

体験会

研修

4年目

児童

ラウンド

障がい者

家族

他部門

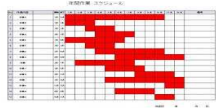
再
ア
セ
ス
メ
ン
ト

1年目 『ノーリフティングケアの
目的の浸透』を目標とし活動



ノーリフティング委員会設立＝組織化
ノーリフティングケア＝リスクマネジメント

計画的な教育



支援の統一



福祉用具導入



2年目 『在宅者、入所者そして職員
がより良いケアを』を目標に
環境整備をおこなった



在宅者へのアプローチ
各連携が必要

ケアマネージャー



家族



他事業所

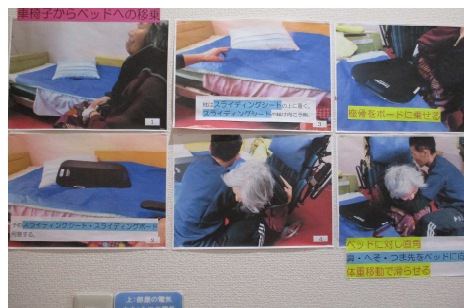


介護複合施設ひばり

老人ホーム⇔デイサービス

施設間のケアの統一
見える化・研修開催

業務開始前にオリジナル
ノーリフ体操



在宅への働き掛け事例①

在宅介護者の声

『一人での移乗が不安』

- ① ケアマネージャーから相談
- ② 支援者（家族）への体験
- ③ 本人への体験・研修（関係者）
- ④ リフト導入

在宅への働き掛け事例①

ケアマネージャーと連携 家族へのリフト体験会



リフトが分からない不安 ⇒ 在宅介護への安心感

在宅への働き掛け事例①

本人への体験会 関係者への研修



相談からスピード導入
ケアマネージャーとの連携の重要性を実感

3年目 『スタッフへの教育・
地域へ周知』を目標とし活動



地域への周知

当グループ全体への研修

地域協議会



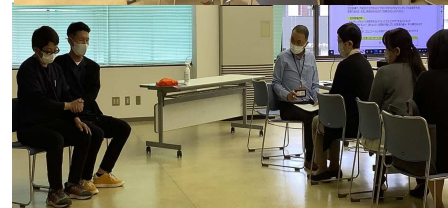
イベント・体験会
社内研修



再アセスメント



筑豊地区ケアマネージャー
地域連絡協議会
(改善事例にて連携の重要性を伝達)



飯塚市イベント
ノーリフティングケア
技術体験会



特別支援学校

移乗相談



4人で
抱え上げ

当事業所にて体験講習会



学校にリフト導入

介護事業から社内各事業所へ

年間スケジュール
ステップアップ

実技研修



実践
試験

指導研修



指導者
試験

地域貢献



合格者は社内資格手当付与！

障がい・児童・訪問
職員へ技術伝達



在宅への働き掛け事例②

- ① 退院後の状態変化（抱え上げ）
- ② 環境改善（家族の不安・研修）
- ③ 再アセスメント（状態変化）
- ④ 再環境調整（研修）
- ⑤ 在宅継続

在宅への働き掛け事例②

B様 環境調整

退院後

自身での移動は困難

希望：在宅継続+複数通所

↓
2人体制での送迎希望

↓
ベッドから玄関下まで
抱えて移動する為



双方に負担大

在宅への働き掛け事例②

ベッド⇔車椅子



スライディング
ボード

土間の高さ



スロープ

移乗方法の変更の提案→ケアマネージャー
家族→環境調整、移乗方法がイメージできない

在宅への働き掛け事例②

購入でなくレンタル試験運用提案



不安
他事業所が
ボード未経験

送迎時
研修開催

移乗方法の統一
1人体制での送迎可能

在宅継続

在宅への働き掛け事例②

ケアマネージャーへ
リフト設置の提案

前回で家族との信頼関係UP
スムーズな導入+連携

送迎時
研修開催



結果：本人とご家族の希望する安全な
【在宅介護+複数通所の利用継続】

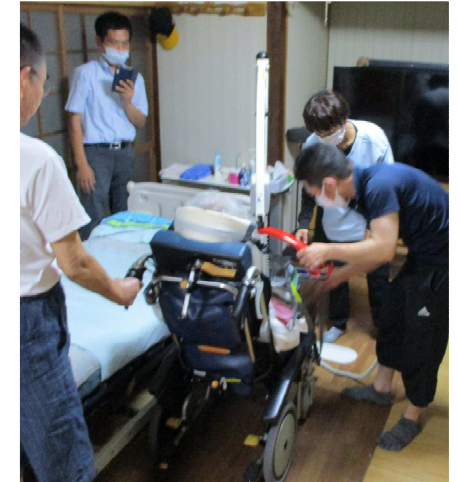
在宅への働き掛け事例②

B様：状態変化
座位姿勢保持が**困難**

ボード使用での移乗
リスク高まる

再アセスメントを実施

移乗方法を再検討



4年目 『障がい児・障がい者施設への
ラウンド・環境改善』
を目標とし活動



ノーリフティングケアを必要としているのは
高齢の介護の現場だけでないとの再認識

児童



障がい者

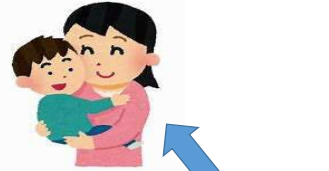


環境調整



【児童事業所】背景

児童事業所
重度の児童＝自身で動く事が
困難→抱き上げるのが**当たり前**



障がい特性・
車椅子のタイ
プも様々



移乗時は抱え上げ
選択肢がない
(知らない)



様々な支援で
不良姿勢

ダメージの蓄積が当たり前
気付けてない現状

【児童事業所】ラウンド→導入+研修

ノーリフティング委員会
によるラウンドの開催

不良姿勢を意識した
リフト研修



リフトの提案

床走行リフト申請
(現場検証にて)

導入(補助金) + 研修

【児童事業所】結果

移乗の**選択肢が増える**
『**双方に笑顔**』

児童：成長後も安心して移乗支援が受けられる。
職員：高齢でも安心して長く働ける、精神的リスクも減



【障がい者施設】ラウンド(通所・在宅)

生活介護(重症心身障がい者)
ベッド生活メイン

障がい者職員にスライディン
グシート・グローブの伝達

自宅・通所ともリフト
但し…ベッド上でのズレに対し
ては二人体制で抱え上げ



研修後の障がい者職員がご家族
に伝達。自宅にシート導入・活用



ノーリフティング委員会

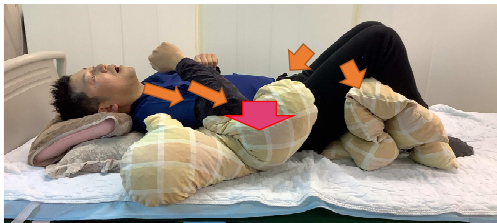
障がい者事業所職員

障がい者家族へ

【障がい者施設】ラウンド(ポジショニング・立位訓練)

不適切なポジショニングに対する
ポジショニング方法の研修伝達

立位訓練時における職員の
不良姿勢改善研修



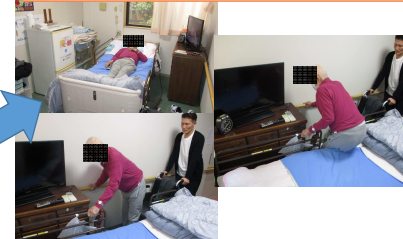
福祉用具を使用する際の姿勢意識

【環境調整】



ほぼ車椅子移動
部屋の動線が
はっきりしない

自立に繋がる環境調整



リスク大

ノーリフティングケア視点で
アセスメント

- ・動線の明確化
- ・壁の手すり利用
- ・起居動作、起立動作がスムーズに

- ・自力で起立可能
- ・歩行器歩行可能 (5m)
- ・手すりを持って移動可能
- ・座位時、勢いがついてしまう

ご本人の目標
『自室から食堂まで歩いて移
動することが出来る』

グループ内各事業所へのアプローチ方法

ノーリフティングケア

- ・身体介護がない事業所は関係ない
- ・自分は身体負担がない
- ・支援で抱える場面がない

自立支援

就労B型

児童発達
支援

放課後デイ
サービス

グループ
ホーム

訪問看護

相談支援

居宅相談

意識改革 + 定着

ノーリフティングケア 委員会設立 (全事業所)



- ・不良姿勢の定義
- ・リスクマネジメント
- ・ダメージの積み重ね

委員会→各事業所職員
イメージの伝達困難

グループ内各事業所へのアプローチ方法

部門毎に不良姿勢写真集作成
現場で不良姿勢の定義で写真撮影

児童



訪問



グループ内各事業所へのアプローチ方法

就労B型



障がい



言葉の説明よりもシンプルに
イメージ+受け入れ易く

グループ内各事業所へのアプローチ方法

各事業所でできる事は改善→

困難事例はノーリフティング
委員会で対応↓



訪問介護

ご家庭でのベッ
ド上の移動困難

スライディ
ングシート
研修

訪問介護

代用素材での支援
身体の使い方



就労B型

車椅子の送迎移
乗の困り事

環境調整
研修

就労B型

環境調整と支援手
順による安全確保



ノーリフティングケアの意識を身近に

ノーリフティングケア事例発表会(グループ全体)

意識向上

その他リスク

脇の下を持つのもNG、脱臼や無理な体勢に繋がります。
上体を起こす時等も腕を広く使う

重度
障がい者→

訪問介護 ↓



ノーリフティング研修

☆スライディングシートの活用法☆

①はじめに

ノーリフティング研修を毎月ヘルパー会議
で取り入れていき、活用法を考え、
今回はスライディングシートでの実践をした
結果をご紹介します。




ベストライフ(株)
東ヶ丘訪問介護センター

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

1期生として多角的な推進に取り組んでみて

- ・日頃から関わりの深い障がい者・児に関わっている事業所の環境から、介護だけでなく様々な場面で双方に優しいノーリフティングケアのニーズがある事に気付き、出来ることから少しずつ取り組みを行った。
- ・ノーリフティングケアのニーズは、施設の介護職だけでなく、在宅介護者、重度の障がい児・者を支援しているヘルパーや・訪問看護師も同様であり、一人対応の機会の多い現場の方が、そのニーズは深刻であった。
- ・また、在宅支援において、キーマンとなるケアマネのノーリフティングケアに対する意識改革も重要なポイントとなる。
- ・今後も介護の部門だけでなく、障がい部門や在宅へと広げる事で、よりよい福祉環境へと繋げる取り組みを継続したい。